

平成 26 年度観光学研究科 教員

河本光弘（かわもと みつひろ）准教授

最終学歴	北海道大学大学院工学研究科都市環境工学 専攻博士課程修了
学位	昭和 63 年 3 月 修士(経営学) 平成 20 年 3 月 博士(工学)
担当科目（一部記載）	観光研究テーマ演習 観光振興文献演習
専門分野	観光マーケティング
研究テーマ	観光を通じた地域振興
所属学会	日本観光研究学会 日本地域学会
著書等（一部記載）	「高原リゾートの形成過程と国際リゾート化 への展望－北海道ニセコ地域を例として」共 著『観光まちづくりと地域資源活用』同文館、 総合観光学会編、2010 年 「新幹線延伸等の立地環境変化が地域の立 地満足度評価に与えた影響分析」日本計画行 政学会「計画行政」31 巻 1 号、2008 年 「農業を活かした地域観光振興策－ニセ コ・ビュープラザを事例として－」（単著）日 本観光研究学会第 22 回全国大会学術論文 集、2007 年 「ニセコ地域におけるインバウンド促進の 実態と課題について」（共著）日本観光研 究学会第 22 回全国大会学術論文集、2007 年 「共分散構造分析による企業立地の満足度 構造の考察（北海道立地企業を事例として）」 （単著）日本地域学会『地域学研究』第 35 巻 第 2 号、2005 年
社会的活動等（一部記載） 職務実績	北海道経済社会動向長期推計モデル開発調 査（北海道開発庁委託調査、平成 8 年 3 月） 今後成長が見込まれるサービス産業の現状 と将来展望に関する調査事業報告書（北海道 庁委託事業、平成 14 年 3 月）

井上博登（いのうえ ひろと）講師

最終学歴	早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程 単位取得
学位	平成 19 年 3 月 修士（人間科学）
担当科目（一部記載）	観光研究テーマ演習 観光文化特殊講義
専門分野	文化人類学
研究テーマ	北海道空知地方の炭鉱遺産を活用した地域活性化への取り組み 長崎県「軍艦島」における生活文化の観光対象化
所属学会	日本文化人類学会 早稲田文化人類学会
著書等（一部記載）	「炭鉱社会の経験をとらえなおす（1）——長崎市高浜町における端島・高島炭鉱閉山後の生業の変容と対応——」『第 60 回関西社会学会大会要旨集』, 関西社会学会, 2009 年 「炭鉱社会像の多様性へむけて—「軍艦島」におけるヤサイブネとアキナイ—」(単著)『現代民俗学研究』2, 現代民俗学会, 2010 年 『移動する家族の生活史—旧産炭地を事例として—』(分担執筆), GCOE Working Papers 次世代研究 12, 京都大学グローバル COE プログラム 親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点, 2010 年 「赤平調査報告——閉山 15 年を過ぎてみえてきたこと」『GCOE Working Papers 次世代研究 56 親密圏／公共圏としての炭鉱コミュニティ——産業遺産の表象から』京都大学グローバル COE 「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」2011 年 産炭地の比較社会学 I-(2)—赤平における炭鉱の記憶を通じた地域再生運動—, 日本社会学会第 85 回大会プログラム（要旨集）, 2012 年
社会的活動等（一部記載）	早稲田大学自然環境調査室における調査補助 2003～2005 年 赤平写真映像資料収集会への協力